

平成14年2月期第3四半期の業績等の概況

会 社 名 株式会社スギ薬局
 (コード番号 7649 東証一部・名証一部・大証NJ)
 本社所在地 愛知県安城市二本木町二ツ池33番地5
 問合せ先 責任者役職名 取締役管理本部長
 氏名 増田 泰朗
 TEL 0566 - 73 - 6300

1 業績

(百万円未満切捨、小数第1位未満を四捨五入)

(1) 平成14年2月期第3四半期(平成13年3月1日~平成13年11月30日)の業績

	14年2月期第3四半期 (当四半期)	対前年同 期増減率	13年2月期第3四半期 (前年同四半期)	参 考 前期(通期)
売上高	38,472 百万円	31.5%	29,256 百万円	40,176 百万円
営業利益	2,297	22.6	1,873	2,632
経常利益	2,596	26.3	2,055	2,876

(2) 部門別の売上高内訳

	14年2月期第3四半期 (当四半期)		対前年同 期増減率 %	13年2月期第3四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金額	構成比
	百万円	%		百万円	%	百万円	%
調剤	1,754	4.6	33.9	1,310	4.5	1,793	4.5
ヘルスカ	12,343	32.1	38.2	8,929	30.5	12,476	31.0
ビューティカ	9,683	25.2	35.9	7,128	24.4	9,684	24.1
ホームカ	8,551	22.2	25.4	6,818	23.3	9,251	23.0
ヘビーカー	2,984	7.8	11.8	2,670	9.1	3,684	9.2
その他	2,900	7.5	31.8	2,200	7.5	3,016	7.5
小計	38,218	99.3	31.5	29,057	99.3	39,907	99.3
その他収入	254	0.7	27.7	199	0.7	268	0.7
合 計	38,472	100.0	31.5	29,256	100.0	40,176	100.0

(3) 主な資産・負債の変動について

項 目	14年2月期第3四半期	増減額	前期末
	百万円	百万円	百万円
(資産)			
現金及び預金	9,522	954	8,567
有価証券	553	503	50
商品	6,836	1,962	4,873
(負債)			
買掛金	7,197	1,805	5,392
未払法人税等	536	364	901

(注) 当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

2. 業績の概況

わが国の経済は、内閣府の「景気は一段と悪化している」との発表にありますように依然として厳しい状況が続いております。米国同時多発テロ、狂牛病の発生、大手企業の会社更生法申請等の暗いニュースが続き、完全失業率も過去最悪の5.4%となり、消費マインドの低下が小売業界全体に大きな影を落としております。

一方、我が国は未だかつて経験したことのない高齢社会を迎えようとしております。医学の進歩により平均寿命は世界有数の水準に達したものの、疾病全体に占める生活習慣病の割合が増加しております。また、要介護者等の増加も深刻な社会問題になりつつあります。厚生労働省では21世紀における国民健康作り(=「健康日本21」)運動を通して、発病を予防する『一次予防』に重点をおいた対策を推進することにより、健康に暮らせる寿命、いわゆる健康寿命の延伸等を図っております。

このような状況の中で、当社は地域に密着した気軽に相談が出来る『かかりつけ薬局』として、商品や健康情報という健康資源を提供してお客様の健康作りを支援していくことで、上場企業としての社会的役割を果たしていかなければならないと考えて参りました。

かねてより当社では、各店の薬剤師やビューティアドバイザーが、お客様に適切なカウンセリングを行えるように、テレビ会議システムを利用した研修や本部での集合研修などで社員教育に注力して参りました。

当四半期におきましては、医薬分業の進展と将来の在宅医療を睨み、10月1日に模擬調剤室を完備した薬事研修センターを開設し、少人数制での実地トレーニングにより薬剤師の更なる技能の向上を目指しております。

また、当四半期には23店舗を新規出店し計129店舗となりました。

(売上高)

当四半期の売上高は38,472百万円(前年同期比31.5%増)となりました。これは、23店舗の新規出店効果と既存店売上の伸び(表1)が起因しているものと考えております。来店客数も増加(来店客数17,846千人(前年同期比37.3%増))しております。

(表1) 売上高の対前年比推移

	13年2月期				14年2月期								
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全店	134.0	126.3	134.0	137.7	139.2	129.7	134.0	128.3	132.2	135.3	122.4	129.9	133.9
既存店	108.2	102.3	106.1	111.5	111.3	104.0	103.8	99.2	107.0	109.8	100.6	106.9	109.2

なお、13ヶ月以上売上実績のある店舗を既存店といたしました。

(売上原価および売上総利益)

当四半期の売上原価は27,835百万円(前年同期比29.6%増)、売上総利益は10,637百万円(前年同期比36.6%増)となりました。主力部門(調剤、ヘルスケア、ビューティケア)の売上高構成比が高くなったため、売上総利益率は27.6%と前年同四半期に比べ1.0ポイント改善いたしました。

(販売費および一般管理費)

当四半期の販管費は8,339百万円(前年同期比41.1%増)となりました。売上高に対する販管費の比率は21.7%と前年同四半期に比べ1.5ポイント増加いたしました。これは、東京証券取引所および名古屋証券取引所への上場に伴う広告宣伝費の増加と、名古屋市内への出店に備えた薬剤師等の増員に伴い人件費が計画を上回ったことによります。

(営業利益)

当四半期の営業利益は2,297百万円(前年同期比22.6%増)となりました。売上総利益率が改善したものの販管費比率の増加により、当四半期の営業利益率は6.0%と前年同四半期より0.4ポイント減少いたしました。

(その他収益および費用)

当四半期におけるその他収益に関しましては、営業外収益が 329 百万円(前年同期比 31.0%増)となりました。営業外収益の主なものは受取手数料 134 百万円、広告用器具受贈益 95 百万円であります。

営業外費用は 31 百万円(前年同期比 55.4%減)となりました。このうち株式上場費用として、雑損失に 23 百万円が計上されております。

(当期純利益)

当四半期の当期純利益は 1,421 百万円(前年同期比 43.6%増)となりました。売上高に対する比率は 3.7%と前年同期に比べ 0.3 ポイント改善いたしました。

今期より退職給付引当金の新会計基準を適用しており、これにより生ずる移行時差異 113 百万円を当期に一括償却し、その 3/4 を当四半期に特別損失として計上しております。

(資産、負債、資本)

流動資産は 18,117 百万円(前期末比 24.0%増)となりました。東京証券取引所および名古屋証券取引所への上場に伴う資金調達もあり、現金及び預金は 9,522 百万円(前期末比 11.1%増)となりました。また棚卸資産は 23 店舗の新規出店及び今後の出店のための商品在庫が増加したこともあり、6,900 百万円(前期末比 40.0%増)となりました。

固定資産は 6,577 百万円(前期末比 29.3%増)となりました。これは新規出店 23 店舗分の建物、土地及び差入保証金の増加が主なものです。

流動負債は 10,405 百万円(前期末比 24.3%増)となりました。売上高の増加に伴い、買掛金が 7,197 百万円(前期末比 33.5%増)となりました。固定負債は 588 百万円(前期末比 33.1%増)となりました。

資本の部の合計は 13,701 百万円(前期末比 25.9%増)となりました。これは株式上場により資本金及び資本準備金が 1,911 百万円増加したことが主なものです。その結果総資産は 24,694 百万円(前期末比 25.4%増)となりました。

(出店状況)

当四半期の出店状況は次の通りです。

(表 2) 当四半期の出店店舗(開店日と所在地)

開 店 年 月 日	店 名	所在地
平成 13 年 3 月 7 日	城 西 店	三重県四日市市
平成 13 年 3 月 21 日	大 府 店	愛知県大府市
平成 13 年 3 月 28 日	伏 見 店	名古屋市中区
平成 13 年 4 月 18 日	石 巻 店	愛知県豊橋市
平成 13 年 4 月 25 日	藤 岡 店	愛知県西加茂郡
平成 13 年 5 月 11 日	上 前 津 店	名古屋市中区
平成 13 年 5 月 11 日	今 池 店	名古屋市千種区
平成 13 年 5 月 23 日	笠 松 店	岐阜県羽島郡
平成 13 年 5 月 31 日	高 浜 店	愛知県高浜市
平成 13 年 5 月 31 日	荒 川 店	岐阜県大垣市
平成 13 年 6 月 27 日	河 芸 店	三重県安芸郡
平成 13 年 8 月 16 日	東 岩 田 店	愛知県豊橋市
平成 13 年 8 月 22 日	多 度 店	三重県桑名郡
平成 13 年 8 月 29 日	稲 熊 店	愛知県岡崎市
平成 13 年 8 月 29 日	知 立 駅 前 店	愛知県知立市

次ページに続く。

(表2) 当四半期の出店店舗(開店日と所在地) 続き

開店年月日	店名	所在地
平成13年9月12日	笹川店	三重県四日市市
平成13年9月19日	岐南店	岐阜県羽島郡
平成13年10月10日	芸濃店	三重県安芸郡
平成13年10月26日	プリオ豊川店	愛知県豊川市
平成13年10月31日	清水山店	名古屋市緑区
平成13年11月14日	島店	岐阜県岐阜市
平成13年11月23日	オーキッドパーク店	岐阜県岐阜市
平成13年11月28日	三好ヶ丘店	愛知県西加茂郡

(キャッシュフロー)

当四半期の現金及び現金同等物は、13年2月期末に比較して1,704百万円増加し、8,026百万円となりました。営業活動によるキャッシュフローは1,816百万円(前年同期比132.6%増)となりました。投資活動の結果使用した資金は1,510百万円(前年同期比41.9%減)となりました。このうち、有形固定資産の取得による支出が1,152百万円、無形固定資産の取得による支出が249百万円、差入保証金による支出が286百万円ありました。財務活動の結果得られた資金は、新株式の発行による収入1,911百万円がありましたが、配当金の支払いに512百万円支出した結果1,398百万円(前年同期比76.4%減)となりました。

3. 当期の見通し

当社の営業地域であります中京地区におきましても、消費マインドの低下は否めません。ポイントカード会員数は11月末で150万人を超え、来店客数とともに増加しておりますが、デフレ傾向による客単価の低下が第4四半期も続くものと考えられます。また、第4四半期に出店を予定しております店舗の開店日が一部来期にずれ込む可能性があります。しかしながら、当会計期間後半のため、今期の業績見通し(*)には変更ございません。

(*) 14年2月期通期業績予想

売上高52,138百万円、経常利益3,727百万円、当期利益2,058百万円。

(表3) 当四半期の実績と計画値

	14年2月期第3四半期実績 (当四半期実績)	14年2月期第3四半期計画 (当四半期計画)	達成率
売上高	38,472百万円	37,670百万円	102.1%
営業利益	2,297百万円	2,365百万円	97.1%
経常利益	2,596百万円	2,610百万円	99.5%

(注)記載されている当社の計画・見通し・戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断もとづいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さいませ。